

青年部

青年部総会開催

青年部（永田幹人会長）第31回通常総会が、4月21日（金）午後4時から THE KAWABUN NAGOYA（名古屋市中区）で、会員35名（委任状を含む。）が出席して開催されました。

総会の司会進行は森田力也副会長が執り行い、来賓として（一社）愛知県産業廃棄物協会会長 永井良一氏、同専務理事 渡邊 修氏が出席されました。



来賓挨拶をする
永井会長

来賓挨拶で永井会長は「昨年青年部30周年記念式典において、廃棄物処理法の改正というお話しをしましたが、特に産業廃棄物の法律に関しては、我々の意見をどんどん言っていかなければ何も変わりません。今の

廃棄物処理法でいい、というのであればそれまでですが、私は日々疑問だらけです。言っても仕方ない、仕方ないからこのままやる、という考えでは何も変わらない、それを変えていくのが皆さんの力であり、全国47都道府県の力の結集をすることで変えていくことができると思います。そのためには青年部の皆さんが将来をどうしたいのか、我々の想いを国に伝えていく活動をしていかなければなりません。それを踏まえ次の5年後、本当の意味での産廃業界の改革に向けた活動をしていきたいと思っています。今回ダイコーの食品不適正処理事案から多くを学び、特に排出事業者と産廃処理業者に対する法的処置の違いに疑問をいただきました。一応の終了宣言として、3月29日県庁にて感謝状贈呈式がありました。しかし評価をいただきたいと思ってボランティアをした訳ではなく、産廃業界に携わる者としての復興支援の意思表示だと私は思っています。また今回お骨折りいただきました皆さんには、何らかのお返しができるよう理事会で図っていこうと考えております。これからも皆さんの力を貸していただき、協会活動を盛大にして我々業界を発展させ、会員各社を元気ある会社となるよう目指していきたいと思っています。」

と青年部への期待と飛躍を願い話されました。

次に、近藤大樹副会長が開会の辞を述べ、挨拶で永田会長は「昨年は30周年を迎え、周年事業が開催できたことを感謝申し上げます。改めましてありがとうございます。青年部は次を担うメンバーの集まりで、更なる発展をしていくための勉強会や、人脈を広げるための交流会を行っています。また、国際社会



開会挨拶をする
永田会長

に目を向けますと、諸外国の目まぐるしい動きや貿易黒字について等々、社会の動向から目が離せません。そのような中、私たちは産廃業界の今後の方向性や会社経営について考えていかなければなりません。先ほどの永井会長のお話しにもありました、更なるレベルアップ、改善、そこが非常に求められており、理事会でも変えていかななくてはいけない、どんどん進めていかななくてはいけない、という話がありました。青年部も一致団結をして情報公開をしながら、いろいろなことが改善できるような仲間づくりを進めていきたいと思っております。」と熱い思いを述べました。

その後、議長に永井弘児副会長が選出され議案の審議に入りました。

- 第一号議案 平成28年度事業報告、貸借対照表、収支計算書及び剰余金処理承認
- 第二号議案 役員改選承認
- 第三号議案 平成29年度事業計画及び事業収支予算書承認
- 第四号議案 備品目録レゴブロック削除承認

第一号議案は原案通り承認されました。第二号議案の役員選出は議長一任のもと提案され新役員の発表があり、全員の拍手をもって承認されました。その後別室にて臨時役員会を開き、新会長に近藤大樹氏、副会長に永井弘児氏、森田力也氏、金田 琳氏、他を推挙し、全員の拍手をもって承認されました。

第三号議案、第四号議案は原案通り承認され総会は閉会しました。

総会終了後、青年部を卒業される村松潤一氏／(有)村松商店、役員を退任される4名 井戸田 理氏、梅谷岳志氏、相木雄介氏、長内敏将氏、の氏名が読み上げられ、出席者に記念品が贈答されました。

懇親会は同会場のレストランで行われ、近藤会長の挨拶、渡邊専務理事の乾杯の音頭にて会食が始まりました。役員改選もあり旧委員の方々は、それぞれの想いを後継者の方に語り継ぐなど、会話が弾むひと時を過ごしました。



■平成29年度事業計画

昨年、青年部も創立30周年という節目を迎え31年目がスタートします。31年目がこうしてスタート出来たのも諸先輩方が絶え間ない努力をされ、今日まで一年一年大切に伝統を受け継ぎながら青年部活動をしてこられたからだと思います。そんな、長きに渡り受け継がれてきた青年部を会員一人ひとりが事業を通じて、楽しみを実感することが出来れば、今まで以上により活発な組織になると確信しており、実りある事業を行って行きます。

<具体的計画案>

1. 会員相互の親睦・交流を深めるための事業
2. 廃棄物業界の動向研究及び会員の資質向上のための事業
3. 全産連青年部協議会全国大会への参加促進
4. 全産連青年部協議会及び中部ブロックに関する事業への参加
5. 協会及び各支部事業・活動との連携・協力
6. 業界PR並びに業界活動の発信
7. その他、上記に付帯する関連事業

また、前記各事業・活動を実施するため、本年度は以下の委員会を設置するものとする。

1. 交流委員会
2. 教育情報委員会
3. 視察研修委員会

<事業・活動年間スケジュール>

平成29年

- 4月 第31回通常総会
- 5月 中部ブロック総会
- 6月 全体会議(教育情報委員会)
全産連青年部協議会総会(東京)
- 7月 中部ブロック事業
- 8月 全体会議(交流委員会)
- 10月 全体会議(視察研修委員会)
中部ブロック事業
- 11月 全国部会長会議(徳島県)
- 12月 全体会議(教育情報委員会)
中部ブロック忘年会

平成30年

- 1月 新年会(交流委員会)
- 2月 全体会議(視察研修委員会)

※上記以外、必要に応じ全体事業・活動の実施並びに参加あり。

■平成29年度・30年度 青年部役員

会 長	近藤 大樹	中部保全(株)
副会長	永井 弘児	永一産商(株)
副会長	森田 力也	(有)森田商店
副会長	金田 琳	サンコーリサイクル(株)
総務監事・総務委員会 委員長	近藤 大樹	中部保全(株)
会 務	石川 太一	(有)アイミ
会 計	伊藤 智織	(株)宮 崎
視察研修委員会 委員長	天野 晃明	岡崎技研(株)
交流委員会 委員長	永富 聡	浜田化学(株)
教育情報委員会 委員長	松永 幸	(株)三洋商店
直前会長	永田 幹人	(株)エイゼン
監 事	加山順一郎	加山興業(株)
監 事	浅井 明利	(有)浅井商店